

白 方 の 風

【学校教育目標】自ら学び考え、心豊かで
健やかに生きる児童の育成

令和7年度
No.25
東海村立白方
小学校
2025.10.24
児童数 452 人

朝晩の気温が大きく下がるようになって参りました。インフルエンザの感染者が増え、秋の運動会が延期された学校もあるとの報道がありました。寒暖差により体調不良になることもありますので、衣服の調整、規則正しい生活を心がけていくことを学校でもお話して参りたいと存じます。

3年生遠足

～手ひねり体験に夢中になりました。～

10月16日(木)に3年生が笠間の陶工房と水戸の県警本部・県庁に遠足に行きました。初めに向かったのは笠間の陶芸の工房です。工房前でクラス写真を撮り、粘土から手ひねりで陶器をつくる体験をしました。最初はつくり方の説明を受けました。水分がある状態で形を仕上げていくとよいこと、球形の形から湯飲み、カップなどの形を指を使って捻りあげていくとよいこと、持ち手を器に付ける時は、泥が接着剤の代わりになることなどを教えていただきその後制作活動に入りました。お皿、カップ、湯飲み、小物入れなど一人一人思い思いの形を捻り出していきました。制作後は、お家の方が作ってくださったお弁当を仲間と楽しくいただきました。

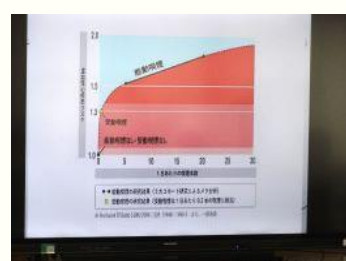
次は水戸に向かいました。県警本部の内部では、全県の事件・事故の情報を集約する通信司令室や道路交通状況を把握するシステムを見学しました。県民の安全を守る警察の方の仕事の大切さを感じることができました。最後に県庁の展望室から、水戸周辺の町の様子を一望しました。水戸周辺の住宅や工場、大型商業施設などが立ち並んでいる様子を上空から見ることができました。県の伝統的工芸品の笠間焼づくり、県警察本部・県庁見学等を通して、郷土の特徴を知ることができました。



薬物乱用防止教室

～ 薬物は絶対に断る。～

10月14日(火)6年生が学校薬剤師の方をお招きして、薬物の害について薬物乱用防止に関する学習を行いました。たばこ、大麻・ドラッグ、アルコールなどの薬物依存などの体や脳への影響についてお話いただきました。喫煙する方の肺と喫煙しない方の肺の写真を比較して喫煙する方の肺は、弾力がなく機能が低下しがんのリスクが高まる物質が付着してしまうこと、喫煙がその他の臓器のがんのリスクを高めることを知ることができました。さらに、エナジードリンクにはカフェインが含まれるため、大量に摂取して中毒を起こすことがあることも教えていただきました。大麻・ドラッグは一度始めると依存性が高まり、やめられるなくなること、脳の機能が低下してしまう恐れがあることなどをご教示いただきました。また、身近な市販薬を大量に摂取する「オーバードーズ」で命に危険が及ぶ場合があることを教えていただきました。そして「薬物を使ってみないか」と誘われても絶対に断ること、強い勧誘、売買の話があったら直ぐに警察や大人に相談するといったご助言をいただきました。



おなか元気教室

～ 元気なお腹にすることが大切です。～

10月14日(火)1年生がおなか元気教室を開催しました。腸の働きをよくするためには、規則正しい生活とバランスの取れた食事が大切であることを学びました。夜更かしをしたり、朝寝坊をしたりして、生活のリズムが崩れると排便が上手いかなくなること、排便が上手いかないと体の調子が悪くなることを学びました。体調を整えるための排便をするには、バランスの良い食事、6m(子ども)近くある腸内によい菌を増やしていくとよいことを学びました。



